

# 令和元年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 産業支援課  
 担当名: 技術支援担当  
 内線: 3772

(単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B14	環境対応プラスチック利用拡大事業		一般会計	商工費	商工業費	産業技術総合センター費	産業技術総合センター運営費	
事業期間	令和元年度	根拠法令				宣言項目	08 稼ぐ力の向上	
			分野施策	040832 変化に向き合う中小企業と小規模事業者の支援				
1 事業概要			5 事業説明					
廃プラスチックによる海洋汚染が社会問題となっている中、本県のプラスチック製品製造事業者の廃プラスチック削減対策や代替素材への転換を技術面から支援する。 (1) 環境対応プラスチックの加工技術向上や製品開発に対する技術支援 △747千円 備品購入費の入札差金が生じたことによる減及び事務経費の節減により生じた執行残の減			(1) 事業内容 ア 環境対応プラスチックの成形加工性向上や製品開発に対する技術支援(産業技術総合センターに執行委任) (ア) 材料選定のための体制整備 中小企業が樹脂ごとに異なる成形加工性を小規模実験で確認し、製品に適した材料を選定できるよう成形加工実験のための体制を整備する。 (イ) 製品開発に関する技術支援 県内企業が環境対応プラスチックを用いて試作した製品等について、機器開放、依頼試験等により性能評価する場合の手数料、使用料を減免することにより支援する。依頼試験等に必要な消耗品を購入する。 イ 環境対応プラスチックについての情報発信 プラスチックに対する規制の動向や先進的取組の情報などをテーマに、県内事業者等を対象としたセミナーを開催する。 (2) 事業計画 ア 県産業技術総合センターに試作用機器を整備し、県内企業への開放や共同研究を実施 イ セミナー開催(2回) (3) 事業効果 新たな規制や代替素材への転換などプラスチック製品を取り巻く環境変化に対する県内プラスチック製品製造事業者の対応を促進し、経営の安定に寄与する。 また廃プラスチックの適正な処理と発生量の削減、代替素材への転換により環境負荷の低減に寄与することができる。 (4) 県民、民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 埼玉県プラスチック振興会等と連携して事業を実施 (5) その他(昨年度からの変更点) 平成31年度新規事業 (6) 補正予算の概要 ア 備品購入費の入札差金が生じたことによる減額及び事務経費の節減により生じた執行残の減額。					
2 事業主体及び負担区分 (県 10/10)								
3 地方財政措置の状況 なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2人=19,000千円								
予算額			財 源 内 訳				一般財源	補正後の 予算額
			繰入金					
決定額	△747	△747					0	13,683
現計額	14,430	14,430					0	